

'95 神戸学院大学 Green Festival

(阪神・淡路大震災被災者支援公演)

Programme:

5月13日 [土] -15:00- 大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

指揮: 十束尚宏 チェロ: 長谷川陽子

東京シティ・フィルと広島交響楽団の常任をつとめる若手の中でも最高の注目株のひとり、十束尚宏がフェスティバルに初登場。協奏曲でのお相手は、過去3回登場して皆様から絶大な人気を得ている実力派、長谷川陽子がサン=サンク「チエロ協奏曲第1番」をもってつとめます。他に、ロッシーニ「アルジェリアのイタリア女」序曲と十束氏が強く希望されたドヴォルザーク「交響曲第9番(新世界より)」。間違いなく満場を沸かせるコンサートです。

5月20日 [土] -15:00- イエルク・デームス ピアノ・リサイタル

大の親日家の巨匠が懇請に応えて、神戸の皆様にその枯淡の境地を披露。しかも、ベートーヴェン後期の傑作ばかりで組んだ「ソナタ第27番 作品90」「ソナタ第30番 作品109」「ソナタ第31番 作品110」「ソナタ第32番 作品111」という超豪華プログラム。かつて人類が産み出した最高の精神的世界を超一流の芸術家が再現するこのリサイタルにはお客様もコンディションを整えてご来場下さることを切望いたします。

6月1日 [木] -15:00- 林 泉 弦楽四重奏団と仲間たちによるアンサンブル

ソプラノ: 常森寿子 ピアノ: 野網泉 コントラバス: 林俊武

3回目のフェスティバル登場。モーツアルト「ディヴェルティメント K.137」のあと、1993年春にご紹介した地元のピアニスト野網泉がシユベルト「ピアノ五重奏曲(錫)」で、日本最高のソプラノのひとり常森寿子が難曲シェーンベルク「弦楽四重奏曲第2番」で華を添えます。シェーンベルクは弦楽四重奏に歌が入るという極めて珍しい構成ですが、現代の感覚にも欠けるところのないこの四重奏団との組合せから火花の散る名演が期待できます。

6月21日 [水] -16:30- 上海京劇院公演「京劇を観る」

出演者: 史敏・巖慶谷他 上海京劇院団員

ひさしぶりの、そして待望の中国京劇公演です。朗々とした唄声、艶麗な身ぶり、激しい立ち回り。京劇には、演劇の楽しさのすべて——聞かせて、見せて、酔わせる——が含まれています。主演の史敏は、昨年度の中国演劇界最高の栄誉「梅花賞」を受賞し、いま中国でもっとも輝いている立ち回りの女優。ぜひお見逃しなきよう。

6月23日 [金] -15:00- 川田知子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ: 田中麻紀

フェスティバルでは大学での催しという特色を生かすべく、実力ある若いアーティストのご紹介にも力を注いでいます。4年前に第5回シユボア国際コンクールに優勝したこの俊英の示す豊かな将来性をお楽しみ下さい。その後も多くの外国オーケストラとの協演などでぐんぐん力をつけています。モーツアルト「ソナタ K.378」、ドビュッシー「ソナタ」、サン=サンク「序奏とロンド・カブリオーソ」、フランク「ソナタ」という充実したプログラムを披露。

6月25日 [日] -15:00- 神戸学院大学吹奏楽部 第9回サマーコンサート

わたくしども吹奏楽部は、神戸市・明石市を中心に演奏活動を行っています。今回は第9回目のサマーコンサートをグリーンフェスティバルの一環としてご紹介しますが、酒井格「たなばた」、真島俊夫「コーラル・ブルー」など夏の曲を中心にしてステージを企画しています。

7月1日 [土] -15:00- 垣花洋子 ソプラノ・リサイタル

ピアノ: 関山桂子 ギター: 弘井俊雄

ミラノ音楽院で研鑽を積み、オペラに歌曲に幅広いレパートリーを持ちますが、それはアイルランド民謡「庭の千草」、トスティ「セレナータ」、山田耕作「待ちぼうけ」、シユベルト「菩提樹」「野ばら」「セレナード」、ブッチー二「お父さん、お願い」(ジャンニ・スキッキ)「ある晴れた日に」(蝶々夫人)、ヴェルディ「柳の歌とアヴェ・マリア」(オテロ)。他といった今回のラインナップにもよく現われており、ギター伴奏も入れて変化を狙う意欲満々のプログラムです。

お申し込み方法……………入場無料。希望者は、往復ハガキ(1枚につき1公演)に公演名と住所、氏名、参加希望人数をお書きのうえ、お申し込みください。1枚のハガキで2名様まで入場できます。小学生は、氏名と学年を明記してください。(幼児・園児および明記のない小学生は入場できません。)

締め切りは各公演日の2週間前になります。なお、希望者多数の場合は、抽選とします。

お申し込み……………〒651-21 神戸市西区伊川谷町有瀬518 神戸学院大学 グリーンフェスティバル係
電話 078-974-1551(代表)

会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/財團法人神戸市民文化振興財団